

★ 月刊 化学物質管理 連載 (2018・1～12) の人気コラムを大幅加筆!!

これから化学物質管理に携わる方へ

○執筆者: 福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 教授 博士(学術) 辻信一 (つじしんいち)
元 経済産業省。化学物質管理政策をはじめ環境政策を担当する。1986年および2009年の化審法改正に従事。退省後、名古屋大学特任教授を経て、現在は、福岡女子大学教授。専門は化学物質管理政策。博士(学術)。

- ・発刊 2019年1月28日
- ・体裁 B5判 305ページ
- ・定価 35,200円(税込 (消費税10%))
- 【雑誌購読者割引 28,600円(税込 (消費税10%))】

※雑誌 月刊 化学物質管理 を現在ご購入契約中の方は、雑誌購読者価格にて承ります。
お申し込み時、備考欄に「雑誌 化学物質管理 購読契約中」とご記入ください。
※他の割引との併用はできません。書店は対象外です。

本書のポイント

- 化学物質管理とは何か?その全体像をつかむことが出来る。
- 化学物質のリスク評価・リスク管理に欠かせない「リスク」の考え方を身につけられる。
- TSCA、REAC・CLP、化審法をはじめ、国内外の管理制度、法規制の仕組みを時系列、対照的に理解できる。
- EMASやISO14001、環境マネジメント監査スキームの仕組み、要求されているものがわかる。
- ストックホルム条約、ロッテルダム条約、バーゼル条約、水俣条約などの国際条約が目指す理念と、それらが化学物質管理にどのように関係してくるのかを概括できる。

【目次】

第1章 化学物質とリスク

1. 今日リスク
2. 化学物質のリスク

第2章 化学物質のリスク評価

1. リスク評価とリスク管理
 2. 有害性と暴露量
 3. 化学物質の有害性
 4. 化学物質の暴露量
 5. 多種類の化学物質による暴露
- 《エピソード1: デラニー条項の教訓》

第3章 化学物質の規制システム

1. 公害防止対策と化学物質管理
2. 排出規制
3. 特定用途規制と一般用途規制
4. 特殊な化学物質の管理

第4章 化学物質管理の始まり

- 米国の化学物質管理のあゆみ—
1. 工業生産された化学物質による環境汚染問題
 2. 『有害物質』報告書
 3. 米国の有害物質規制法(TSCA)の制定
 4. 改正前のTSCAの審査・規制制度
- 《エピソード2: マスキー法が残したもの》

第5章 わが国の化審法の制定

1. アメリカの化学物質管理思想のわが国への伝播
2. 既存化学物質名簿の策定
3. 既存化学物質の安全性点検事業
4. 少量新規化学物質
5. 制定当時の化審法の施行と将来への課題

第6章 欧州における化学物質管理の始まり

1. ドイツにおける化学法法の制定と既存化学物質への取組み
 2. 欧州における化学物質管理の始まり
 3. REACH制定以前の欧州連合における化学物質管理
- 《エピソード3: 食品安全と自由貿易 —EU対米国いつまで続く通商紛争?》

第7章 国際協定

1. OECDによる国際調和への取組み
2. OECDによる既存化学物質の安全性評価
3. OECDによるデータの相互受け入れ
4. スtockホルム条約
5. ロッテルダム条約
6. バーゼル条約
7. 水銀に関する水俣条約

第8章 段階的審査制度の導入

1. 段階的審査制度の提案
 2. 化審法への段階的審査制度の導入
- 《エピソード4: 環境思想のコペルニクス的転換!?!》

第9章 環境情報の公開

1. 化学物質の排出管理制度(PRTR制度)
2. オーフス条約とわが国における環境情報の公開
3. 安全データシート(SDS)
4. リスクコミュニケーション

第10章 環境マネジメントシステム

1. 環境マネジメントシステムの始まり
2. 欧州の環境マネジメント監査スキーム(EMAS)
3. ISO14000シリーズ
4. 欧州の環境マネジメント監査スキームとISO14000シリーズとの比較

第11章 化審法における生態系保全の始まり

1. 生態系保護をめぐるわが国の沿革
2. 化学物質管理分野における生態系保全制度の導入

第12章 既存化学物質問題とEU白書

1. 既存化学物質問題
2. HPVプログラムの開始
3. 欧州における動向
4. EU白書

第13章 REACHの制定

1. 持続可能な開発に関する世界サミットでの目標の設定
2. REACHの提案と主要国の反応
3. REACHの実施に向けての検討と審議
4. REACHの特徴

第14章 REACHの制定後の欧州の化学物質管理

1. EUの第7次環境行動計画における化学物質管理
2. CLP規則の制定
3. RoHS指令の改正
4. WEEE指令の改正
5. ELV指令
6. REACHの施行状況

第15章 2009年の化審法改正とその後

7. REACHにおける成型品の解釈をめぐる訴訟
 8. REACH規定の見直しに向けた動き
- 《エピソード7: 予防原則》

第15章 2009年の化審法改正とその後

1. 持続可能な開発に関する世界サミットとSAICM
2. 審議会における検討
3. 2009年(平成21年)の化審法改正の特徴
4. リスク評価の導入と予防原則

第16章 化審法の運用

5. 2017年の化審法改正
6. 低生産量新規化学物質の申出手続き
7. 少量新規化学物質の申出手続き
8. 高分子化合物の事前確認制度

第17章 化審法改正前のTSCAの問題点

1. 「化学物質」とは
2. 化学物質の「製造」とは
3. 「製品」とは
4. 「試験研究」用途とは
5. 新規化学物質の審査手続き
6. 低生産量新規化学物質の申出手続き
7. 少量新規化学物質の申出手続き
8. 高分子化合物の事前確認制度

第18章 TSCA改革

9. 高分子化合物の安全性評価プロセス(高分子フロースキーム)
10. 中間物、閉鎖系用途等について
11. 一般化学物質
12. 優先評価化学物質

第19章 REACHの制定後の欧州の化学物質管理

1. 内在する問題点
2. TSCAの問題点の顕在化
3. 自発的プログラムの開始

【考えてみよう】

【第17章の「考えてみよう」のヒント】

1. TSCA改革の始まり
2. TSCAの改正
3. 今後の課題
4. 環境規制とイノベーション

終章 これからの化学物質管理

1. 転換期を迎えた化学物質管理
2. 化学物質管理法
3. PRTR制度とオーフス条約
4. 環境マネジメントシステム
5. これからの化学物質管理

詳細はHPをご確認ください : <https://johokiko.co.jp/publishing/BC190101.php>

FAX : 03-5740-8766、または、→<https://www.johokiko.co.jp> にて

※FAX番号はくれぐれもお間違えの無い様お願い致します。

★書籍申込書

(書籍申し込み要領)

- 右記記入の上、FAXでお申込を承ります。
- お申込書を確認次第、書籍、請求書および振込要領をお送りいたします。
- 未発刊の書籍をお申込の場合、申込書を確認次第、受領書をお送りいたします。発刊時に弊社より書籍、請求書および振込要領をご送付いたします(送料は弊社負担)
- お支払いは請求日翌月末日までに、銀行振込にてお願いいたします。原則として領収証の発行はいたしません。
- 振り込み手数料はご負担ください。

★ <https://www.johokiko.co.jp/> の申込みフォームからも承ります!

書籍名HP【BC190101】		これから化学物質管理に携わる方へ		書籍	冊数	___冊	※記入の無い場合は1冊
会社名							
所属部課・役職等							
申込者氏名				TEL	FAX		
E-MAIL				上司役職・氏名			
住所〒							
備考							
ご案内をご希望の場合は今後の案内方法にレ印を記入下さい(複数回答可) <input type="checkbox"/> e-mail <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 郵送							

ご連絡頂いた、個人情報は弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため利用致します。今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。今後のサービス向上のため「個人情報の取扱に関する契約」を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先policy@johokiko.co.jp